

ヤマハニュース
YAMAHA NEWS No.54

'67 **12**月号



誌上紹介 TOKYO MOTOR SHOW
FISCOを圧するYAMAHA



ヤマハ ハイライト

YAMAHA HIGHLIGHT

プロテクターつきトレールのエンジン

ヤマハ独自の十文字縦型のシリンダーフィンから、大きくひきあげられて後方に伸びるエキゾーストパイプ。見るからに力強いエンジン部の構成であるが、さらにこのエンジンをだきかかえるようにクランクケース下部には

頑丈なエンジン・ガード、すなわちプロテクターがついている。それというのもこのエンジンはタフネスを誇る注目の万能車「ヤマハトレール 100L 2-C」の心臓部で、ラフ・ロードを活躍の場としているものだからだ。

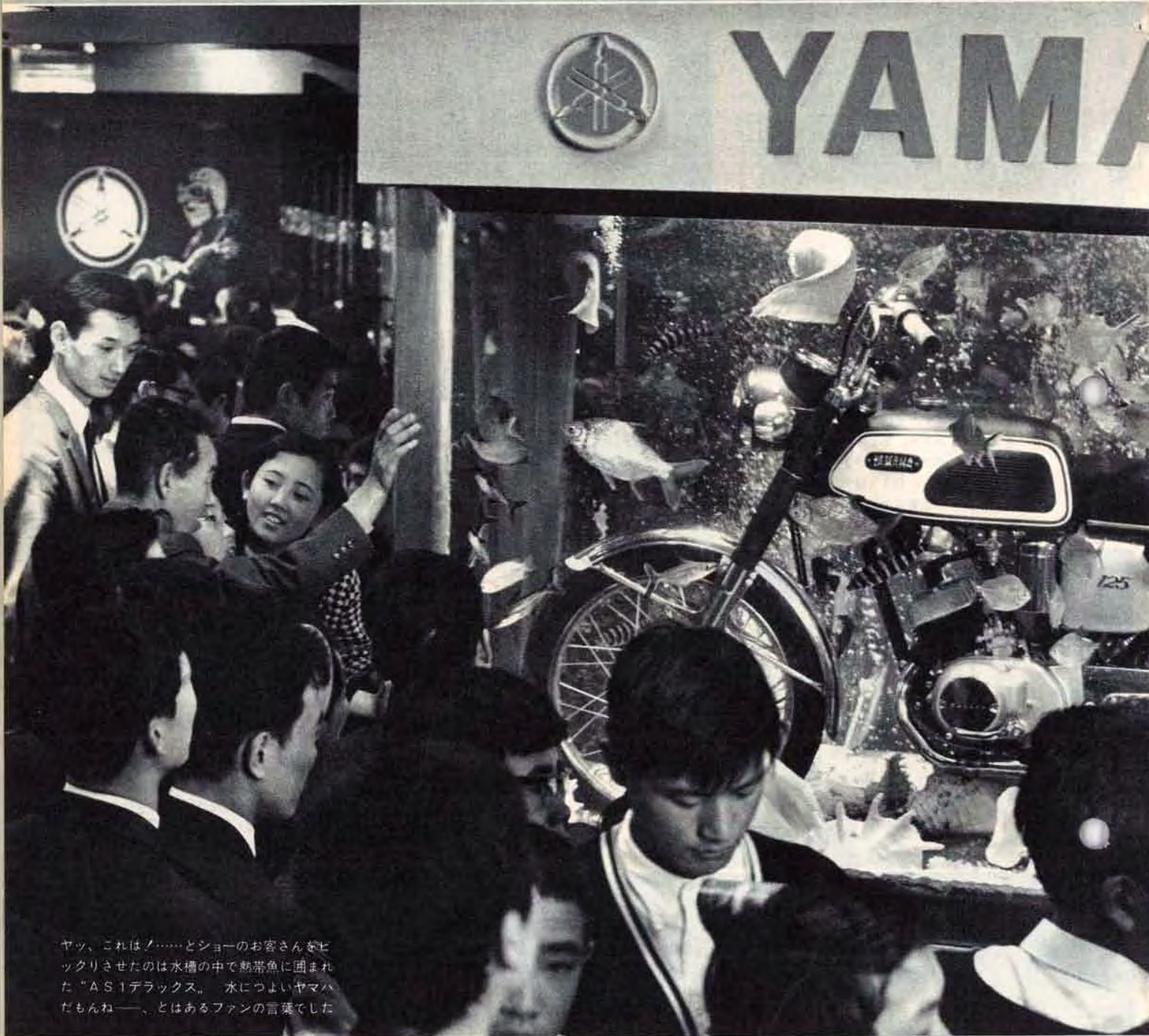
表紙のことば

俊速ヤマハ! '67世界GPの最終戦・日本グランプリで、ヤマハ125オートループレーサーはひとけた異なるチャンピオンの実力を発揮し、昨年にひきつづき2年連続して優勝の栄冠を獲得しました。ライダーはヤマハで初のライダーチャンピオンとなったビル・アイビー選手で、250cc級でもランキング3位となっています。

14th TOKYO MOTOR SHOW



YAMAHA



ヤッ、これは！……とショーのお客さんをビックリさせたのは水槽の中で熱帯魚に囲まれた“AS1デラックス”。水につよいヤマハだもね——、とはあるファンの言葉でした

第14回 東京モーターショー 誌上紹介

* * *

ことしも
ヤマハの人気は最高でした

モーターファン待望の、東京モーターショーが、ことしも東京・晴海を会場に10月26日から2週間の会期で開かれました。

二輪車界の会場は、例年どおりまわり池をめぐらした7号館で、ヤマハのコーナーは正面入口から右に入った奥、丸い屋根の8号乗用車館からの連絡路のつきあたりとなるところで、まずは格好の場所。

ここに、ヤマハはスポーツ車を中心とした40台の出品車をダイナミックなディスプレイで飾り、ことしも二輪車館最高の人気をあつめて話題の中心となりました。

近日発売 ヤマハトレール 250DT1

▶ 今回のショーでもっとも注目を浴びた車種のひとつがこの「ヤマハトレール 250 DT1」です。アルミシリンダーの単気筒2サイクルは19馬力(6000rpm)、2.5K g-m(4000rpm)の強大な出力をもち、その登坂能力は40°以上におよびます。若い人、とくにモトクロスに興味をもっている人に対するうけかたは大変なものでした。近日発売の予定で出品したものですので、いろいろと問合わせがあると思います。よろしくPRのほどお願いします。

▼ アイボリーの燃料タンクに、エンジのフレーム。DT1の仕上げは明るくスマートです。ボトムケースにスプリングを格納したレーサー仕様のフロントフォーク、ブロックバタンの特殊タイヤ、5段変速機、巾広なバーつきアップハンドル、そしてヘッドランプ上に装着されたタコメーターとトリップ付きのスピードメーター。DT1はストリート・スクランプラーの王者です。この本格派設計と充実した装備に、若人の人気が集まります。



話題のトレール車がずらり

▼ 道なき道の不整地を豪快につっ走り、ペーブされた都会地をスマートに乗りこなす話題のくるま、ヤマハが新たに開発した万能車「トレール」は、このほど発売された100L2-Cをはじめ125AS1-C、輸出仕様の180CS1-C、305M2-C、そして本格派設計のヤマハトレール250DT1がその全容を公開し、トレールブームにいつでも対応できる持ち駒豊富なヤマハの手のうちを披露して若人の注目をあつめました。



近日発売 ヤマハスポーツ 50F5-S



躍進ヤマハの若さあふれる展示構成に、高松宮ご夫妻もしばし足をとめられ、小池専務の説明に熱心に耳を傾けられた。

◀
これが50cc級スポーツの「ヤマハスポーツ50F5-S」です。〈だんぜん大きく働く90〉で評判の高いH3と同じく、フレームは頑丈な（セブン）スタイル。これにロングシートと専用のサブ・キャリアが標準仕様として装備されています。変速はロータリー式4段。最高速度は83km/hをマーク。近日発売です。

魅力のスポーツシリーズ

▼ 今回のショーで期待の50cc級にスポーツ車が登場しました。「ヤマハスポーツ50F5-S」です。さらに爆発的な人気の「125AS1」に普及車も加わりました。これでヤマハスポーツシリーズは50ccから350ccまで7車種がそろったわけです。黒を基調に、光と動きをふんだんにとり入れ、躍動する若さとスピードを強調したヤマハスポーツシリーズの展示舞台は、2輪車館の中でもひととき目につく存在でファン足を止めていました。

▶
乗りやすいアップハンドル、大型なライト群に加えて、ブーツ式のフロントフォークが採用されていることはこのF5-Sを大いに魅力的なものとしています。



近日発売 ヤマハトレール 125AS1-C



▲ 燃料タンク両側面をクロームメッキしたのは「AS1」の普及車です。装備面ではAS1デラックスとなんら変わりありませんが、5ポート式エンジンのポート・タイミングを変更して、低・中速により重点をおいた乗りやすいものとしてあります。このため出力は13馬力(7000rpm)、最高速度は120km/hにおさえ、スポーツ車は初めてという人、山間悪路を常用する人に重宝なものとしています。



◀ これもトレールの新型です。待望の125スポーツとしていま爆発的な人気を得ている「AS1」のバリエーションで、「ヤマハトレール125AS1-C」として、近日発売を予定しています。パーつきアップハンドル、ガードつきアップマフラー、そしてラバーブーツをはいたフロントフォーク。燃料タンク左右のパネルはブラック・フェイスといった精かんさが魅力のストリート・スクランブラーです。



◀ 「AS1-C」のエンジンは、いうまでもなくタフで強力な5ポート式。とくに低・中速におけるネバリ強さがこのAS1-Cをいっそう魅力的なトレールとしています。Uの字を画きカーブしているエキゾーストパイプによってロードクリアランスも大きくとってあります。

11月1日発売 ヤマハスポーツ125AS1 ¥135,000

世界で実証 / ヤマハの技術



世界で実証 / ヤマハの技術

▲ '67世界GPで圧勝、みこと125cc級メーカーチャンピオンをかちとったRA31、そして話題のRD05と、2台のオートルーパーを中心に、主力全車種を展示した世界のヤマハコーナーは圧巻でした。ロータリーバルブをはじめオートループ、こんどの5（ファイブ）ポートと、つねに技術の先端をゆくヤマハの優秀性が、スポーツシリーズ、ビジネスシリーズの主力製品によって、たくましく表現され、見る人に強烈な印象を与えたのです



▲ ヤマハが開発したまったく新しい車種・トレールは話題のマト。ヤマハ・コーナーを訪れた皇太子殿下もたいへんに興味深げにご覧になった。殿下の左はトレール 250DT1の特長をご説明する高井技術本部長。右は上島東京支店長。



人、人、人で、いっぱいのヤマハ・コーナー“コンニチワ、ヤマハデス。”
美しいモデルさんと共に、ひょうきんなインコもPRに一役かって、ヤマハのイメージアップを羽ばたいていました。

内外の専門誌紙が筆をそろえて絶賛!

ヤマハの新技術

ファイブ 5ポート式エンジン

125 スポーツの本格派、『ヤマハスポーツ125 A S 1 デラックス』のエンジンに採用された5（ファイブ）ポート・シリンダーは、ロータリーバルブの実用化、オートルーブ装置の開発に次ぐヤマハ技術陣の輝しき勝利として内外に爆発的な反響をまき起しています。

5ポート独自のジェット噴流が完全掃気を果し、低・中速から高速にかけて目覚ましい出力アップをひきだしているからです。ここに内外一流専門誌紙の評価を紹介します。

●フランスでは

「モトレビュー」誌が

「画期的な第三の

掃気孔」と紹介

ヨーロッパのモーターサイクル界で著名なヤマハは、レースでも常に上位を占めて人気をあつめているが、A S 1のシリンダーに設けられた二つの新しい掃気孔は高性能ヤマハをさらに前進させる技術の勝利である。

従来の2サイクルは一つの排気孔に二つの掃気孔を設けて完全掃気果している。新設のこの二つの掃気孔が吸・排気効率を高めることは理論的にはつきりしていることだが、その実用化には種々の困難な技術的問題がともなう。しかしヤマハのエンジニアたちはみごとに難問を解き、画期的な第三の掃気孔をつくりだした。

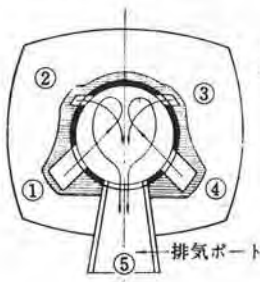
●イギリスでは

「モーターサイクル」紙が

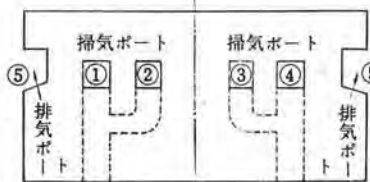
「注目の技術、

5ポート方式」と題して

A S 1デラックスはこのクラス初の5段変速機がフィットされていることもさることながら、技術的特色でとくに注目されるのは5ポート方式のエンジンである。A S 1のツインのシリンダーは外観からは何の変化も見出すことはできないが、その内部には、それぞれ1個の排気孔に対して4個の掃気孔をもち、完璧な吸・排気効率を得てこのA S 1の出力、トルク、スピード等の性能をこのクラス最高のものとしている。まさに注目すべき技術である。



5ポートの掃気の流れ



5ポートの展開略図



cycle guide
FOR RIDER AND BUYER

Moto revu

特集 ■ あなたの
'67 日本
国産車のス

●アメリカでは
「サイクルガイド」誌が

「デイトナ圧勝の
秘密」と報道

デイトナビーチのレースといえば、アメリカ最大のロードレース、そしてここ3年ばかりの呼び物はヤマハの怒濤のような攻勢である。どうしてヤマハはこしも強いのか、その答えはヤマハの卓越したエンジン技術にある。ヤマハでは125スポーツの新型で独自の5ポート・シリンドラーを開発しているが、これは最近のTD11Cにもうけつがれているヤマハだけのまったく新しい技術である。

排気孔の両側に対象的に設けられた2個の主掃気孔と頂点を揃えて、シリンドラー後部から排気孔にむけて開孔されている補助掃気孔こそ、ヤマハが最高度のスタミナを要求されるデイトナでの圧勝の秘密である。

●そして、日本では

「オートバイ」
「モーターサイクリスト」
の二大専門誌が

「2サイクルの
技術革新」と激賞

従来の一般的な2サイクル・エンジンのほとんどが、3ポート方式で、掃気は排気孔の両側に近接して設けられた2個の掃気孔により行なうが、新気の流れて生じる過流の中心部に廃ガスが残り、完全な掃気が果せないことがある。

そこで考えられたのがAS1で採用されている「5ポート」方式で、この一掃できない

部分に向って別の角度へ噴流を与えるようにさらに2個の掃気孔を設けて廃ガスの完全掃気を計り、ひいては新気の充填効率の向上からムラのないパワーアップを得ようというGPレーサーの技術がそのまま生かされている。
(月刊「オートバイ」)

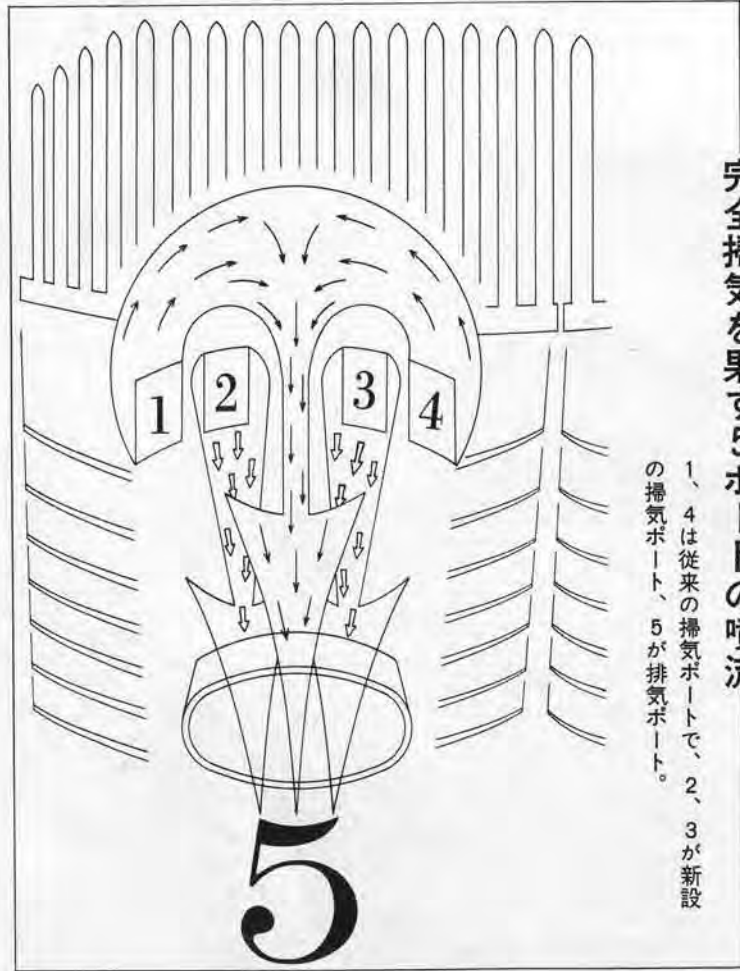
* * *

ヤマハ125AS1の大きな特長の一つにエンジンがある。ピストンバルブ式2サイクル・エンジンの技術革新というもので、従来の3ポート(2つの掃気孔と1つの排気孔)から一歩進んだ5ポート、すなわち主掃気ポート

のほかに補助掃気ポートを2個追加し、3ポート+2補助掃気ポート=5ポートというものである。

この新設の二つの掃気ポートからの噴流が従来の3ポート式にあった欠点、すなわちシリンドラー中心部に形成されていた残留ガスの「よどみ」を完全に掃気するため、高速はもとより、低・中速における目覚ましい出力向上が図られている。このことによりピストンバルブエンジンでありながらロータリーバルブ式に匹敵する高性能を生みだしている。
(月刊「モーターサイクリスト」)

完全掃気を果す5ポートの噴流



1、4は従来の掃気ポートで、2、3が新設の掃気ポート、5が排気ポート。

FISCOを圧するYAMAHA

メーカーチャンピオンの実力を発揮!



ヤマハと共に実力世界一を実証した
ビル・アイビー選手

ヤマハ125、日本グランプリを連覇



ヤマハに對したのはスズキ、カワサキ、フルタコ、デルビなどで、スズキとカワサキは最高級のニューマシンを持ちこんでいた。

'67世界GP 125cc級レースの9戦目、アルスターGPにおいてははやとメーカーチャンピオンを獲得したヤマハは、10月15日、富士スピードウェイを舞台として行なわれた日本グランプリでは無敵の強さで優勝、8万7千の大観衆を前にチャンピオンの実力をまざまざとみせつけた。ヤマハ 125の優勝は昨年につづいて2度目、イタリアGPの勝利で待望のライダーチャンピオンを決定づけたビル・アイビーが再度「フジ」の壇上に立った。



①ビル・アイビーのヤマハはスタートからトップに立ち、以後はまったくの独走で、文句ない勝利をおさめた。



注目の250cc級レース

本橋明泰 2位に入賞

◀ 昨年の250cc級レースで長谷川、リードについて3位入賞した本橋明泰選手は、ことしは健斗よく2位入賞と自己最高の成績をあげた

長谷川弘が最高ラップを樹立

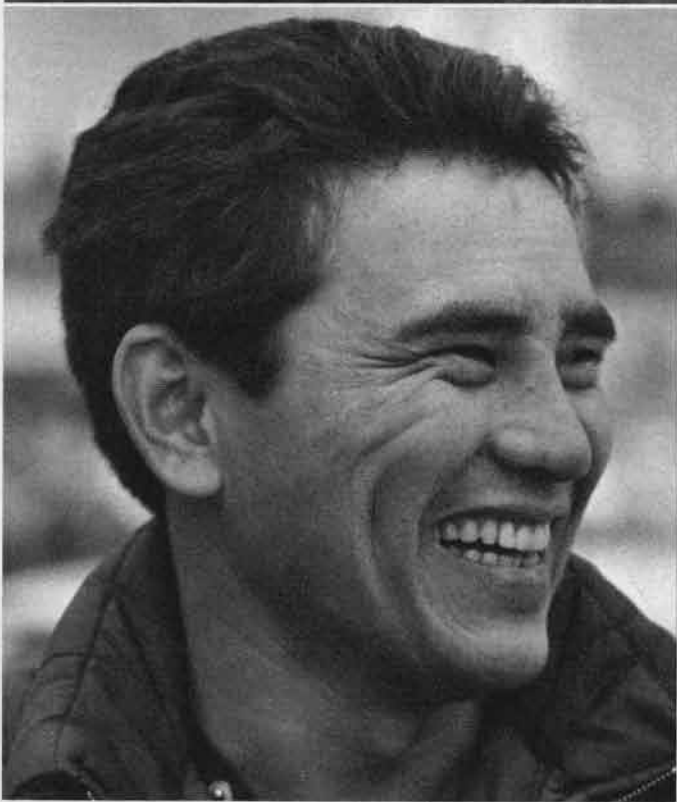
▼ 車番⑧ヤマハの長谷川弘は並みいる強豪を相手に堂々たるレース展開をみせた。スタートから好調に飛ばしてトップに立った長谷川は⑫ホンダ6気筒の名手ヘイルウッドをひっぱるというマイ・ペースでレースをすすめ、ヘイルウッドを5周目でピットインにおいやり、7周目にはリタイヤさせた。



2連覇を目指す長谷川弘は、ヤマハ4気筒250の性能をフルにひきだし、9周目には1'32"71—169.263km/hの最高ラップをマーク、完全にレースの主導権をにぎった。そしてゴールまであと8周という25周目までトップを堅持していたが、ブレーキ系統にトラブルを生じて無念の涙をのんだ。



▲ 4気筒マシンを駆って疾走をつづける本橋明泰。250ccレースは2つのヘヤビンカーブを含む全長4.359kmのショートコースを33周した



350 R 1 (オールワン) 大活躍!

三室恵義が初陣で3位に入賞



▲ グランプリ初出走で3位入賞。さすがに喜びをかくしきれない三室恵義選手。オールワン(R1)は速い、そして信頼できる車です——がGP3位入賞の感激のことばであった。

▶ R1改造のレーサーは好調そのもの。350cc級レースにはヘイルウッド、プライアンスのホンダ6気筒のほかにカワサキA7スペシャル、アエルマッキ、パートン、ノートン、ブルタコなどに著名な選手が乗車して覇を競ったが、R1の実力は堂々3位をかちとった。



ヤングヤマハ



シーズンオフは スキーで鍛えよう

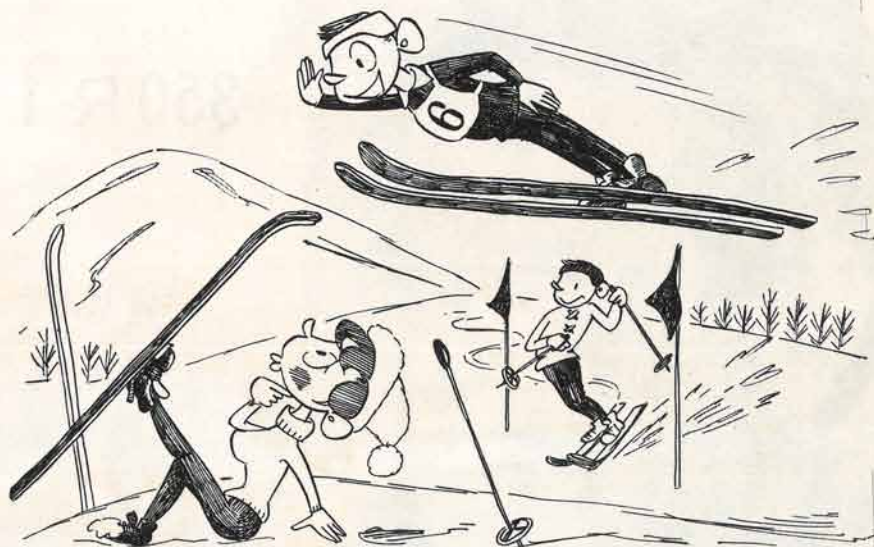
紅葉もすぎ、雪の便りが聞かれるようになると、ネコもシャクシもスキースキートとさわぎはじめる。この二、三年來はとくにプルームとかで、真夏でもナイロンブラシの上を滑べったり、氷をまいて人工雪ですべったり、学校をすべるだけではもの足りない連中が大騒ぎする。

しかしヤングヤマハはちがう。雪の上では走れないオートバイのかわりに、スキーでスピード感覚をシーズンオフにも充分つけることができる。スキーの速度は平均七〇以上、モトクロスの平均速度より高い。最高速度も、一七〇キロ以上そこまではとても無理だが、一〇〇キロくらいはすぐでてしまう。しかも、坂なのだから度胸をつけるのにも最適。地形を読む動態視力も養なわれる。

とくに、ジャンプの踏み切りなどはそのタイミングに共通するものがある。そのうえ、スキーには女のコがタクサンやってくる。これこそヤングヤマハにとつていちばんはり切りねばならないことではないかね。

コトバに強くなろう

スキーにはいろいろなコトバがある。手持つ杖一つとつてみてもストックとあちらのコトバを使う。その他クリスチャニア、プフルーク、ウエーデルンなどなど、まったく雪の上ではすべれなくともスキーの大ベテランに見られるには、こんなコトバがスラスラと出るべきである。スキー——北欧地方のことばで、うすい板のこと。ポインポインでない彼女の



胸はスキーのようでもというかね。

クリスチャニア——回転のこと。シュウングともいう。直滑降できない急な斜面は、斜めにすべるが、そのままでは目的地から遠くに行ってしまうから、途中で回転しなくてはならない。このとき使われるのがこのクリスチャニア。戦前のボーゲンよりスピードがあり、急角度にまがるので一時はスキーヤーあこがれのテクニク。それも、シュテム(足を

開く)と、バラレル(足をそろえる)とあり、どちらがよいともいえないがシュテムだバラレルだと女の子にいわれてドギマギしてはヤングヤマハとはいえないよ。

プフルーク——スキーをV字型に開いて滑べる、一名全制動ともいう。女の子に多いスタイル。足を内またの感じで、キヤーツ、どいてどいてどいていいながら滑ってくるのはたいいてこのスタイル。そのあとの尻もちまではプフルークといわない、念のため。

ボーゲン——曲げること。女の子が感きわまって身体を弓なりにそらすのも医学用語でボーゲンという。夕べはボーゲン十回、ウシシ……などと使うようなはしたないことはやめよう。スキーでは初心者回転に使われるテクニク、プフルークから、身体をたおして、片方のスキーに重心を移すと自然に回転する。ウエーデルン——黒い稲妻で、トニー

ザイラーがマンボのリズムで軽快に滑べつてみせたのがこのウエーデルン。犬が尾をふるという意味。彼女がちよつと甘い顔したからといってすぐ尾をふつては馬鹿にされるけど、雪の上では尊敬の目で見られること確実。

オムレッツ——直滑降いわゆるチョツカリでストックを小脇にかかえするとき風の抵抗を少くするのに卵のようになれといったのは昔のこと。卵よりもつとつぶれるのはオムレッツ、これ以上のスピードスタイルはない。

パラマウント——ヤマハ製グラスファイバーの最高級スキー。世界の一流選手が絶賛したステンレス一本エッジ、これを持つただで君はゲレンデの注目を集めることうけあい。

FISCOを圧するYAMAHA

フジスピードウェイ

ヤマハレーシングチーム

125cc 世界チャンピオンの底力

'67世界GPの125ccチャンピオンをはやばやと
ときめているヤマハとビル・アイビー（車番
⑦）の実力はひとけた上。2位以下を問題と
せぬ圧倒的な強さで大観衆の耳目を奪った。





250cc

日本人ライダー 感動の力走

▲ われらのメイト⑧長谷川弘は最強のマシンを手にして 250cc級日本GPの2連覇をねらった。そして世界の超一流ライダーを相手に最高ラップを樹立する堂々たるレース展開で満場を湧かせた。車番⑦は同僚のアイビーで③はホンダ6気筒のM.ヘイルウッド。

◀ もうひとりのメイト⑩本橋明泰の活躍もまたみごとなものであった。鋭い排気音を富士にこだまさせ、堂々2位入賞の大役を果たしたのである。日本人選手、感動の力走であった。

350cc

アール・ワンで

世界GP第3位

▼市販車のヤマハスポーツ 350 R 1 改造レーサーで日本GP 350ccに挑戦した三室恵義はホンダ6気筒のヘイルウッド、プライアンスに次いで堂々3位に入賞する偉業を果たした。



ヤマハ総合カタログ

ヤマハは あらゆるお客さまのご要望を
満足させる車種をとりそろえております

ヤマハメイト50 USD・USE



4.5馬力・3段変速・自動クラッチ・70km/h・90km/h・Uラインフレーム・防水防塵式ブレーキ・U5 Dキック・U5 Eセル始動
現金正価 U5D 5万7千円
現金正価 U5E 6万4千円

ヤマハメイト70 U7・U7E



6.2馬力・3段変速・自動クラッチ・85km/h・85km/h・Uラインフレーム・防水防塵式ブレーキ・U7キック・U7 Eセル始動
現金正価 U7 6万3千円
現金正価 U7E 7万円

ヤマハスポーツ125AS1デラックス



15馬力・5段変速・130km/h・5ポートシリンダー・2気筒・2キャブ・オートループ・パイプフレーム・防水防塵式ブレーキ・ステアリングダンパー・車重97kg
現金正価 13万7千円

ヤマハスポーツ180CSI-E



21馬力・5段変速・140km/h・アルミシリンダー・2気筒・2キャブ・オートループ・パイプフレーム・防水防塵式ブレーキ前輪ダブルカム・ステアリングダンパー
現金正価 16万9千円

ヤマハスポーツ250DS5-E



29.5馬力・5段変速・160km/h・アルミシリンダー・2気筒・2キャブ・オートループ・パイプフレーム・防水防塵式ブレーキ前輪ダブルカム・ステアリングダンパー
現金正価 19万3千円

ヤマハスポーツ305M2



31馬力・5段変速・165km/h・アルミシリンダー・2気筒・2キャブ・オートループ・パイプフレーム・防水防塵式ブレーキ前輪ダブルカム・ステアリングダンパー
現金正価 19万5千円

ヤマハスポーツ350R1



36馬力・5段変速・173km/h・アルミシリンダー・2気筒・2キャブ・オートループ・パイプフレーム・防水防塵式ブレーキ前輪ダブルカム・ステアリングダンパー
現金正価 22万8千円

ヤマハ50YF1-D



4.5馬力・4段ロータリー変速・82km/h・ロータリーバルブ・オートループ・プレス鋼板フレーム・テレスコピックオレオフォーク・防水防塵式ブレーキ・車重67kg
現金正価 6万円

ヤマハ60YJ2



5馬力・4段ロータリー変速・83km/h・ロータリーバルブ・オートループ・プレス鋼板フレーム・テレスコピックオレオフォーク・防水防塵式ブレーキ・車重72kg
現金正価 6万4千円

ヤマハ125YA6



11馬力・4段ロータリー変速・110km/h・ロータリーバルブ・オートループ・セル始動 テレスコピックオレオ・防水防塵式ブレーキ
現金正価 13万5千円
(白タイヤ ダブルシートのYA6-Dは13万7千円)

ヤマハオートループ90 H3



8馬力・4段ロータリー変速 100km/h・ロータリーバルブ・オートループ・7スタイルフレーム・18吋ホイール・テレスコピックオレオフォーク・防水防塵式ブレーキ
現金正価 7万5千円

ヤマハオートループ80 YK-80



6.5馬力・4段変速・85km/h・ロータリーバルブ・オートループ・プレス鋼板フレーム・テレスコピックオレオフォーク・防水防塵式ブレーキ・車重84kg
現金正価 6万8千円

ヤマハオートループアイン90 AT90



8.2馬力・4段ロータリー変速・100km/h・2気筒・2キャブ・オートループ・ダブルシート・オレオテレ・防水防塵式ブレーキ
現金正価 8万3千円
(セル始動 ダブルシートのAT90Dは8万8千円)

ヤマハオートループ100L2-C



8.5馬力・4段ロータリー変速・95km/h・登坂23°・ロータリーバルブ・オートループ・アップハンドル・プレス鋼板フレーム・防水防塵式ブレーキ・車重92kg
現金正価 8万2千円

安上がりが魅力 話題のメイトグループ

性能を楽しむ 注目のスポーツグループ

小回りがきくビジネスグループ

人気の焦点 働く中間車種グループ

新発売

こんにちはヤマハです

▼ 休日ともなれば、お客さんが入れかわり、立ちかわり、お店に遊びにくる。そこで、レースのトロフィーを手に記念撮影。後列右が馬場さん。そのとなりが小久保さん。

'67世界のGP・ヤマハ125メーカーチャンピオン!

新発売 ヤマハスポーツ125 ASI デラックス

現金正価 ¥137,000

クラブをつくって
スポーツ需要をふやす

八王子市南町

小久保モーターズ

小久保春夫さん

スポーツ車をより多く売るには、お店にもそれにふさわしいムードが必要なようである。経営者自身が、お客さんと一緒に暮らしてモーターサイクル・スポーツの楽しさを探求するような店には、おのずからスポーツ好きのお客さんが集まる。都下八王子市の小久保（コクボ）モーターズも、こういった販売店のひとつ。今年の三月には、お客さんからの要望で、小久保モーターズに事務所をおく「多摩ヤマハ会」が生まれた。ツーリングや技術講習会などのミーティングをつうじて、お客さんとのつながりが深まり、そのお客さんの紹介で、さらに新しいスポーツ車ファンが、どんどんふえていく。

スポーツファンが集まるムード

経営者の小久保春夫さん（26才）が、十二年も勤めていたヤマハ販売店から独立して、小久保モーターズを設立したのは、昨年八月のこと。まだ一年あまりしかたっていない。しかし、それ以前から、小久保さんと、よき女房役の馬場祐治さん（22才）のまわりには、スポーツ好きの若い人たちが集まる雰囲気ができていた。

現在、工場長として小久保さんを助けて働いている馬場さんは、三年前に「高尾レーシングクラブ」を組織して、会員の人たちとモトクロスやロードレースに出場。とくにモトクロスでは、かなりの成績を残している。



会長の馬場さん自身、YA6など三台のスクランプラーを持っていて、ライダー兼メカニックとして活躍する。小久保さんももちろんクラブ員から信頼されるメカニックとして、レース場へおもむく。

販売店の人たちがみずからモータースポーツを愛し、そして楽しむ。こんなふうだから自然、スポーツ好きのお客さんがふえてくる。そして、すぐにお客さんであって、しかも仲間たちといった親しい間柄になってしまう。

「多摩ヤマハ会」が誕生

そのうちに、五人、六人とヤマハをたらねてツーリングに出掛けるお客さんのグループが目立つようになってきた。「いつそのことツーリング・クラブをつくらうではないか」そんな要望がお客さんたちの間から出てきたのは当然であろう。

今年の三月、ツーリング好きのお客さんが集まって「多摩ヤマハ会」が発足した。会長はNHKに勤務する青山昭男さん(33才)。オートバイに乗りはじめてから十五年のキャリアがあるが、その間、無事故、無違反でとおしてきた。安全運転をモットーとする多摩ヤマハ会の会長にはうってつけの人物である。会員はたちまち三十人あまりにふえた。九月十七日に第一回目のツーリング大会。富士五湖をまわり、大菩薩峠をこえ、甲府でブドウ狩りを楽しんだ。第二回は十月八日に日光へ。そして第三回は十月十五日、日本GPの応援をかねて、富士へ出掛けた。

ヤマハ会の結成にあたっては、会則をきちんと定めた。会費はひと月百円だが、ツーリングのさいには実費を徴収する。ヤマハ会は

会員によって自主的に運営されており、経済的な面で販売店に負担がかかるようなことは決していない。

ふつう、グループでツーリングに行くと、食事代をだれが払ったとか、ガソリン代をだれが立てかえたとか、とかく金銭の面でトラブルになりがちで、こんなきさいなことがトラブルの原因にもなりかねない。多摩ヤマハ会の発足によって、この点も明朗になった。

お店にとって大きなプラス

ヤマハ会の結成は、お客さんに喜ばれたばかりでなく、小久保モーターズにとっても非常にプラスになった。

小久保モーターズを中心として、ツーリングやレースなどモータースポーツがさかになるにつれ、これが大きな宣伝になり、「スポーツ車なら小久保モーターズへ」という評判が次第に高まっていった。

クラブには加入しないまでも、こうしたお店のムードにさそわれて、小久保モーターズを訪れるスポーツ好きのお客さんがふえた。いまでは八〇%までがスポーツ車のお客さんである。

小久保さんも馬場さんも、ほとんど一日中、店を離れることはない。そのかわり、お客さんが新しいお客さんをつれてきてくれる。

最近のことだが、一人がヤマハスポーツ車を買ったために、その友だちが六人つづいて同じ車種を購入したというケースもあった。

小久保さん、馬場さん、そして多摩ヤマハ会のメンバーの活躍で、ヤマハスポーツの新しい需要が急速にふえている。

「では、気をつけて！」 ツーリングに出掛ける仲間たちに声をかける小久保さん（右）



▼ このステッカーが、モータースポーツ愛好者のしるし。



おそろいのユニフォームで街をゆく多摩ヤマハ会の会員たち。若い女性もふり返る。

◀ 10月15日の日本GPには、ツーリングをかねてヤマハの応援に駆けつけた。



新しくクラブをつくらうとするみなさんの参考になるよう、多摩ヤマハ会の会則を紹介しましょう。

多摩ヤマハ会会則

- 一、本会を多摩ヤマハ会という
- 一、本会の入脱会は自由とする
- 一、本会の事務所は八王子市南町十一番地、小久保モータースに置く
- 一、本会は健康と身心の鍛練および交通道德に対して知識を高め、会員相互の親睦を図るを目的とする
- 一、本会は右の目的を達成するため、つぎのことを行なう

(イ) ツーリング (ロ) 講習会 (ハ) その他
一、本会には、つぎの機関を置く
会長一名 本会を代表して一切の責任を負い、会の運営にあたる

副会長一名 会長を補佐し、会長事故あるときは、その業務を代行し書記会計を兼任する
役員の任期は一年とする。役員選出は総会において選出する

一、総会は会員の三分の二以上の出席をもって成立する

一、つぎの事項は総会の決議による

(イ) 会則の変更 (ロ) 会計報告

一、本会の経費は会費寄付等をもって、これにあてる

会費月額百円とし毎月集める

一、本会に入会の節は入金金百円とする

以上

入会誓約書

私は多摩ヤマハ会に入会致します

なお入会後の一切の事故に対しては本会に迷惑と責任を負わせないことを誓約致します

昭和 年 月 日

住所

氏名

多摩ヤマハ会長殿

山国、甲州を走るヤマハ白バイ



山梨県警非崎警察署に、地元のライオンズクラブから、R1の白バイが贈られました。山梨県は名にしおう山の国、そのため県を縦断

する国道20号線をはじめ、県内の幹線は起伏が多く、そこで取締る警察は、より強力でタフな坂に強い車が必要なわけ。その目的にピ

ッタリヤマハR1 350が発売されると同時にライオンズクラブが寄贈を決定。9月から、交通安全の取締りにあたっています。

カンヌヤマハ富士に挑む

神奈川県平塚市のヤマハメイト・柳下 勝さん(二十一才)が、去る9月、愛車ヤマハ70 YP1で友達四人と富士登山を試みに成功しました。

日本の最高峰富士に挑むのにタイヤだけを特にスクランブル型のもので交換しただけで、他はすべてスタンダード仕様のまま。この小さ

なヤマハは、岩と火山灰の難路を越える10時間の酷使に立派に耐えたのです。

海拔一万フィート以上といえは空気もかなり稀薄になっているはずですが、こんな異常な状況下でもヤマハの調子にはいささかの狂いもなく、製品の優秀性があらためて認識されたとのことです。



メーカーチャンピオン受賞記念 ヤマハフェスティバル



メーカーチャンピオン受賞記念、ヤマハフェスティバルが秋晴れの十月二十二日、浜松市宮ヶ岡で、はなやかに開かれました。この行事は、ヤマハ発動機とその協力工場をあげて、行なわれたもので、世界GP制覇を目指して健闘したライダーたちの表彰式をはじめ、バラエティーに富んだ幾多の催しがくりひろげられました。

「ご苦労さま。よくやってくれました」川上社長も拍手で選手たちを迎える。「来年も頑張ります」自信のある声が、それに応えた。

軽快なマーチののってくりひろげるバトンガールたちの妙技が、若さと力強さがあふれるヤマハフェスティバルの雰囲気さをさらに盛り上げた。

快獣ブースカや体操のオニイサンも、お祝いにつけ、家族づれを喜ばせた。



美人ぞろいのヤマハ乙女たちも、ヤマハマークを染めぬいたあでやかなユカタ姿で踊りを披露。



“ツインジェットも健闘,,



Above: Fred Simone USA heels his immaculate powered special through hander. The engine are genuine Rennsport Ceriani



Second in the 125 cc race, Tim Cooper (Yamaha)

—カナダGP—

カナダの建国百年祭を記念して行われた9月30日のカナダGP 125cc級レース、チャンピオンB・アイビーの強さは抜群でしたが、このレースでヤマハのツインジェットY L-1の活躍も見逃せません。2位から10位までのうち7位・10位をそれぞれホンダ、スズキのラ

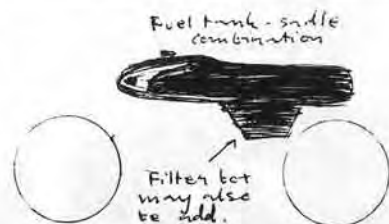
イダーに譲っただけで、他はすべてY L-1のライダーが独占してしまつたのです。この地域では小排気量クラスのレースはまだあまりさかんではありませんが、今回のY L-1の健闘は現地のスポーツファンを大いに刺激したことは間違いありません。

“愛用ヤマハはこう改造したい”

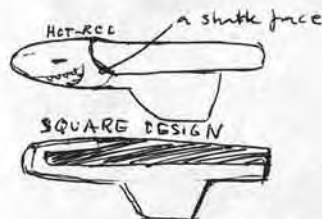
ヤマハは、海外のあらゆる年齢層にもはやされていますが、これはフィンランドの熱烈なファンの人である15才のE・ニーニスト君から寄せられたアイデアです。

彼はまだヤマハオートバイを持っていませんが、近い中に必ずツインジェットY L-1を手に入れるそうです。

蟻の顔をした燃料タンクとサドルの組合せとか、キャンプ用具用の荷台とか、荷台とフラッシュライトの組合せとか、またはグリーンの色度計とか、如何にも15才の少年らしい無邪気なアイデア集ですが、その熱心さには感心させられます。



THERE ARE MANY WAYS TO CARRY OUT THE "COMBINATION"



I BELIEVE YOUR DESIGNERS ARE ABLE TO PUT THIS INTO A YAMAHA AND MAKE IT A "BEST-SELLER" FOR EXAMPLE IN THE U.S.A.

P. リード、ファンにサイン攻め



日本GPの前夜、富士スピードウェイの一角で行なわれた前夜祭に、ヤマハのP. リード選手があらわれ、サインテーブルでファンの差し出す、ノート、プログラム、シャツ、スカーフなどにつぎつぎサインした。強豪をもって鳴るリードのサインをもらおうと押しかけたファンは百数十人、さすがのリード選手もサインと握手にフラフラでした。

世界各地で ショーひらく!

新年度を目指すセールス拡張の時期になりましたが、ヤマハの準備はすべて完了しました。
有名なロンドンショーを始めとする世界各地のモーターショーで、ヤマハ製品は相変わらず高い人気を誇っています。
グッドデザイン賞受賞に裏打ちされる洗練されたスタイルと世界選手権を勝ちとった無比の技術に保証される高性能のヤマハラインは来年度も一段と市場のシェアを高めることでしよう。



ロンドンショー



シドニーショー



(続) 冬のオートバイ

木枯しが吹きすさぶ候ともなると、冬の保守、冬の整備とやかましく言われます。むやみに神経質になるには及びませんが、肝心なところは冬の注意が必要です。

暖気運転は少し多めに

エンジン始動後、すぐ疾走するのは眠っている子供を起すようなもので、非常な無理を強いることとなります。やはり適度の暖気運転(ウォーミングアップ)は必要です。スターターを戻してもエンジンが調子を乱さずスムーズな回転を保てばよいでしょう。

これはオイルがピストン、シリンダーその他の軸受部、摺動部に充分にいきわたり、高速回転に適するように温まるまでということ。冬期は外気温が低いので、夏季にくらべ倍の時間の暖気運転を実行してください。

ワイヤーへの注油

クラッチ、ブレーキのワイヤーにはグリースが注入されておりますが、寒くなりますとグリースが固くなり、潤滑作用が劣ってきます。したがってクラッチ操作が重いか、ブレーキ操作が重いという結果になります。このようなときにはグリースを注入するよりも、むしろ良質のオイル(モーターオイルでよい)を注油したほうがかえって効果があります。

長規格納の注意事項

極寒地方になりますと、走りたくとも走路が確保できないということから愛車を冬眠させるようになります。その場合の注意を……

まずエンジン部では
キャブレターは掃除かたがた取外し、フロート室内のガソリンを抜いておきます。

今月のサービス

不用意にバッテリーを空にしてしまったバッテリー点火のエンジン、バッテリー、マグネトー点火の如何にかかわらずキャブの操作を誤って吸込みすぎたエンジン、いちばん手取り早いのが押しがけです。

キックしてもセルでも始動困難。バッテリーが空なら勿論、でなくとも吸込みすぎもエンジンの回転が少なくとも二千以上でなければ押しがけでも無理ですからギヤはローかセカンド。ローで後輪がスリップするようなら、セカンドかサードで押し出し、途中でクラッチはそのままローかセカンドへ蹴込みます。クラッチはいつでも切れるようにレバーに指をかけておく。始動と同時にクラッチを切って空吹かしするためです。

YA、YD、YM、等には緊急用のスイッチがあつて便利。スイッチをそれにまわすか、もし無いモデルでもローで小走りに走るくらい押しやればダイナモ健全の限り始動可能の筈。注意しなければならぬ点は吸込みすぎのときは、スイッチは走行、スターター・レバーは戻してスロットル全開、ポロンときたらクラッチを切つてブルーンまで空ぶかしでOK。バッテリーが空のときは、吸込みすぎでない限りスロットルは通常の位置、勿論スターター・レバーも活用。このときスロットル全

ミッションは古いオイルをぬきとり、新しいオイルと交換しておきます。

車体装備関係では

冬眠時間が一カ月以上にもわたるときはメッキ、塗装部に防錆処理を施します。クロムメッキはそれ自身が防錆の性質をもつていますが、やはり長期間放置しますと錆やくもりが生じます。手近に入るモーターオイルかスピンドル油など(植物性のオイルは不可)



開で始動すると、車が飛び出して引ずられる危険が大きいのので要注意。緊急用スイッチで押しがけた場合にはブルーンと回つたら忘れずにふだんの「走行」に切り替えねばなりません。

を薄く塗って防錆効果をもたせます。

燃料タンクに残ったガソリンはぬいておきます。またタンク内部の発錆を防ぐには、オイルを混合したガソリンを入れて振りまわしておけば、内部にうすくオイルが附着して防錆効果があります。

タイヤ空気圧は規定値より10パーセントぐらい低めにしておきます。またメインスタンドを立て、前後のタイヤを浮かし気味に保ち



ます。タイヤの寿命を損なわないためです。
 駆動チェーンは、ちょっと面倒ですが取外してオイルの中に浸しておくのが一番の良策です。

格納場所としては、ホコリと湿気の少ない

工具べからず

および腰になるべからず

真剣にやることを身をいれるとか、本腰を入れるとかいいいます。および腰やヘツピリ腰では本当の仕事はできません。作業物をぐつと身近かにひきつける状態で、力も技もだしきった作業態度は見た目にも美しいものです

ベタ足すべからず

ボクシングの試合でよくみられる光景ですが、フットワークよろしく軽快な身のこなしをする選手のほうが、踵（かかと）をベッタリとマットに着けたままの動きの鈍い相手よりも有効なパンチを多くだし、KO率も高いようです。立ってのおよび腰と同様に、ベタ足で腰をおろした格好はいただけません。ちからも入らないし、見た目もサマをなしません。相撲でいう蹲居（そんきよ）の姿勢で片足をわずか踏みだした形が一番よろしい。

車庫が欲しいところです。しかし厚板が避けられる場所であれば、あとはキャンバスを掛けておくだけで、十分に間に合います。
 雨除けとしてビニールカバーがありますがすぐにバリバリになって取扱いにくくなりますので、少し高価になりますが、木綿のキャンパスの使用をすすめます。



★ヤマハファンにぴったりの、ティーンの雑誌!

ボーイズライフ

挑戦野郎

毎月9日発売

Zと呼ばれる男

現代っ子の夢と希望にこたえて誕生したデラックスな10代の雑誌です。若人の話題を独占するカラー特集をはじめ、科学記事、世界のニュース、アクション小説などを毎月提供しています。全国の中・高校生の話題を独占!

小学館



ヤマハ笑談室

▷あなたのお店のお客さん◁
この人をご存知ですか？



ご声援ありがとうございます！
富士スピードウェイのお客さん

10月15日に、富士スピードウェイで開かれた世界選手権第5回日本グランプリロードレース大会の会場でスナップしたヤマハのお客さんです。

あなたのお店のお客さんかも知れません。このお客さんの名前と住所、そして、このお客さんにヤマハを売った、あなたのお店の住所をお知らせください。

記念品を差上げます。メ切は明年1月末日。



もっとお客さんに接しよう

東京都台東区 島村裕二

このところ、うちの店でも、ヤマハの売れ行きは好調です。それにくらべて、修理のほうはずつと少なくなりました。オートループで故障のない車だからでしょう。修理に持ち込まれる車は、ほとんどヤマハ以外の車です。修理が少なくなったことは、お客さんのために非常によいことだと思いますが、修理にたよって商売をしていくような行き方は考えなおさなければならぬ時期にきているようです。

一日中、店に坐っていたのでは商売も発展しません。できるかぎり積極的に外へ出て、お客さんと接触する機会をふやすとか、お客さんに定期点検整備をきちんと守ってもらうよう働きかけなければならないと考えています。

冗句コーナー

へ上には上へ

ヤマハスポーツはもちろん、トヨタ二〇〇〇GTから大型特殊車はいうにおよばず、汽車から電車まで操縦できるという男が、こんどは飛行機の免許までとった。

当然、仲間たちの話題は、その男のことで持ち切りだった。

「ありとあらゆるものの操縦にかけて、彼を上回る者はいないだろうな」

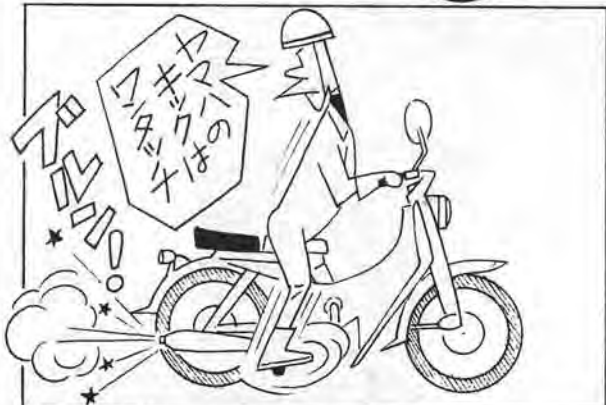
すると一人が異論をとなえた。「彼よりうわ手があるよ」

「それはダレだい？」

「彼の奥さんさ。彼ときたら、うちではすつかり奥さんに操縦されちまつてる」



RENJA! 愛車のバイク客



菊づくりで心を養う

東京都杉並区・児玉自動車

児玉初男さん



いま育てている菊は、およそ50種。今年は新品種もずいぶん分がけた。そろって花を咲かせるのが待ちどおしい児玉さんだ。



児玉さん夫妻の豊かな愛情にはぐくまれて成長した長男の伊佐雄さん(左)は、学業のあいまに、お店の仕事や菊づくりを熱心におぼえようとする好青年だ。

十月の下旬から十二月のなかばにかけてのほぼ二カ月間は、日本の花「菊」のシーズンである。

東京都杉並区上高井戸にある児玉自動車の経営者、児玉初男さん(48才)は、菊づくりに情熱をかたむけながらも「仕事は仕事、趣味は趣味」と、はっきりけじめをつけ、その両者を着実に伸ばしていることで評判の人だ。児玉さんは毎朝六時に起床。お店の仕事がはじまるまでのひとときを菊の手入れに没頭する。そして、昼休みの一時間。児玉さんにとっては、すべてを忘れて優雅な楽しみに打込める時間であると同時に、気分を一新、仕事への新たなファイトをつちかう大事な時間でもあるわけだ。

「以前、ダリアを一〇〇種ぐらい手がけたことがありましたが、菊は、花をたのしむ期間が長いのでいいですね。たんせいして育てた菊が、つぎつぎ花を咲かせてくれるのを見るのは、なんともいえない気分ですが、五月ごろ、さし芽をするときの楽しさは、また格別ですね」児玉さんにとっては、菊をいじっている時間すべてが喜びなのだ。

「菊を育てるのには、忍耐と愛情が絶対に必要な条件です。ちやうど子供を育てるような気持ですね」

こうして育てた菊を児玉さんは、まだ品評会などに出したことはない。「天狗になるのはイヤだから」というのがその理由だが、せっかくの美しい花を一人でも多くの人に見せてもらいたいものである。

'68 新艇発表



トリマラン TRI-12

ヤマハからわが国初のトリマラン(三胴艇)が発表されました。このボートは広いコックピットと高い安定性を持ち、とくに船尾がVになった船型は、旋回性能もおどろくほどの成績です。デッキは艶消しのレザー、ウインドシールドはなく、サンバイザータイプの風除けがついた素敵なスポーツボートです。

全長	3.600M	深さ	0.520M
全巾	1.365M	重量	105kg
定員	2名		
適用馬力	6~20PS		

新発売 道を選ばぬ万能車

ヤマハトレール100L2-C

現金正価 8万2千円



砂利道、デコボコ道をこわがっていた
お客さんにおすすめください！

トレールとは踏みつけて道をつくるという意味をもつ言葉。ヤマハトレール 100L2-Cは、その名のとおり道なきところに道をつけて走ることもできるまったく新しいタイプの万能車です。砂利道だから、凸凹道だからと迂回する必要はありません。不整地専用ともいえる安全設計で、ハッとするような難関もラクラク乗りこなせる実力を備えているのがヤマハトレール100L2-Cです。



ヤマハ発動機株式会社

ヤマハニュース NO. 54

●昭和42年11月15日発行

●発行所 ヤマハ発動機株式会社=静岡県浜北市中条

●発行人 小池久雄